

2 飯田真里 育休ママ・働きたいママのためのリスタート 応援セミナー

計画達成度
85%

事業者データ
代表者：飯田真里
HP：なし
Mail: ikuben_88@yahoo.
co.jp

事業目的

産休・育休と女性たちが子どもを産んで子育てをしながらでも職場へ復帰できる環境は整いつつあります。しかし復職までのソフト面でのサポートは企業・行政共に不十分であるのが現状であり、仕事・子育て・家事の負担は女性が大きく、不安と不満を抱えて仕事をしている女性が多いのが現状です。そこで、悩みながらも仕事を楽している現役ワーママの姿を見せること、子育てによって、スキルアップできている現在の自分を認め自信をもつこと、子育てしながらも自分時間を持って自分のやりたいことをやる時間管理テクニックを身に着けることで、復職・社会復帰後の仕事と子育ての両立の準備ができるスキルアップを目的としています。

現状と目標

社会背景からも女性の社会進出、社会での活躍の期待はあるなか、自治体・企業で十分なバックアップ体制が整っておらず、事業内容は必要性を感じる。ただ、事業が広まらない、企業様にとっても優先度が低い、ママが自己投資する上でのメンタル的ハードル高く自分への投資の優先順位の低さを感じた。

私ひとりではこの活動をつづけていくことの難しさは感じるため、協力者や企業様自治体と一緒に活動していくことが必須であり、賛同して下さるかたを作ることが先だと考える。企業25社ほど訪問電話等させていただいたが、女性社員様へチラシ配布して下さった企業様は5社ほど。ハード面ではどこの企業様も努力改善されてきていると思われるがソフト面に対しては関心は薄く感じられた。

活動と成果

参加の皆様の講座内容の満足度は高く、学びの質の良さや復職前に学び事前準備すること、なぜ自分は復職したいのかの目的を明確にすることの大切さを感じ取ってもらえた。

復職前に自分の思考考え方をかえていくことでポジティブに物事を考えられるようになったことが大きいとの感想。復職のためのスキルややり方の前に考え方を
知ること、自分自身はなにを本当はしたくて、なんで仕事をするのか?など自分と
とことん向き合うことで復職する自分のイメージシミュレーションができたことで復
職への不安が小さくなったのと、不安があったとしても漠然とした不安ではなく、
何に不安を抱えていて何が問題なのかを明確にすることができたために改善策
も一緒に考えることができた。

復職に前向きになった人数3/3。3月復職1名。5月復職1名、起業1名。

9月2回講座、10月2回講座、12月1月2月は月1テーマを設けて交流会開催。



振り返り課題

元々役割意識の高い日本人であるため、家事育児の役割は女性という無意識の当たり前があると感じる。旦那様の家事育児への興味関心度も各家庭様々で、温度感を感じた。講座に旦那様と一緒に参加する内容があるとより夫婦の協力体制が整うと感じるし、夫婦でどんな家族家庭を作っていきたいかのゴールを共有していくことがなにより1番大切だと感じた。

女性たちも人に家事育児を誰かにお願いすることの罪悪感を手放すことの必要性、子供や家族のために自分の気持ちに蓋をするのではなく、人へ伝えることの勇気、職場復帰に対して相談できる窓口など、繋がり協力体制をつくって、仕組み作りが必要だと感じている。

母親が大変そうに育児家事仕事をしている姿を子供にみせることよりは母親が笑顔で楽しく毎日を過ごしている姿をみせていくことが子どもたちにとっては1番の嬉しいことであり、家族の幸せに繋がっていくと感じる。

相関図

